

お知らせ

平成25年度『自然ふれあい講座』のご案内

長野県の自然環境の保全や地球温暖化対策について多くの方々に関心をもっていただけるよう、研究所が開催する一般向けの講座です。来年度は、野外講座のほか、室内での講義や実習による講座も計画しています。どうぞお気軽にご参加ください。

(1) 野外講座

① 雪深い里地に住む猛禽類、サシバ

サシバを通じて里山の環境を考えます。

6月15日(土) 9:00~12:00 木島平村

共催：NPO法人 RAPOSA

定員：20名 担当：堀田昌伸

② くさばなの暮らしをみつめる～ニッコウキスゲ編～

霧ヶ峰高原の夏と言えば、ニッコウキスゲ。その生活史と保全にむけた取組に注目します。

7月6日(土) 10:00~12:00 茅野市 車山高原

定員：20名 担当：尾関雅章

③ 飯綱高原の植物とチョウ

かつて広い草地のあった飯綱高原で、植物やチョウを観察し、土地利用と生物相の関係、その変遷について考えます。

7月27日(土) 9:00~12:00 長野市 飯綱庁舎

定員：20名 担当：須賀 丈

④ 花が咲かない植物、シダの不思議観察

世代交代するシダの不思議を観察し、目につかない自然界の営みを発見しましょう。

8月24日(土) 10:00~12:00 飯田市 座光寺

定員：20名 担当：大塚孝一

⑤ 自然史王国信州を歩く～どこでもHAIKU編～

お気軽俳句を通して大自然を体感しよう。

10月26日(土) 13:00~15:00 安曇野市 長峰山

定員：20名 担当：富樫 均

(2) 市民参加型モニタリング

⑥ みんなで温暖化ウオッチ～セミのぬけがらを探せ！(全6ヶ所 各会場定員20名)

地球温暖化が身近な自然環境にどのような影響を及ぼしているかを一緒に調べてみませんか？毎年同じ場所でセミの抜け殻を市民参加でモニタリングすることで、身近な自然の変化について学びます。

8月1日(木) 10:00~12:00 飯田市 かざこし子どもの森公園

担当：温暖化対策班

8月4日(日) 10:00~12:00 松本市 アルプス公園

担当：温暖化対策班

8月6日(火) 10:00~12:00 長野市 八幡原史跡公園

担当：温暖化対策班

8月8日(木) 10:00~12:00 大町市 市立大町山岳博物館

担当：温暖化対策班

8月9日(金) 9:30~12:00 上田市 染屋の森

担当：温暖化対策班

8月10日(土) 9:30~12:00 伊那市 春日公園

担当：温暖化対策班

(3) 室内講座・実習

⑦ 植物標本作製講座(全2回)

野外で植物の観察、採集をし、標本作製を体験します。

6月1日(土) 9:00~12:00 長野市 飯綱庁舎・敷地

定員：10名 担当：横井 力

9月7日(土) 9:00~12:00 長野市 飯綱庁舎・敷地

定員：10名 担当：横井 力

⑧ 野生動物の年齢査定の意義と方法

野生動物の年齢査定の意義と方法について講座と実習で学びます。

11月9日(土) 13:00~16:00 長野市 飯綱庁舎

定員：20名 担当：岸元良輔

●参加方法など● 研究所に直接、電話・ファックス・Eメール等でご連絡ください。

※参加は無料ですが、傷害保険料200円をご負担いただく講座もあります。

※詳細は、講座ごとに開催2ヶ月前にご案内します。(日時・内容は変更する場合があります。)

編集後記

先日、1880年代に採集された中央アルプス特産種ヒメウスユキソウの標本を確認しました。100年以上前の先達による自然を解き明かす研究にふれた気がしました。長野県環境保全研究所による、信州の生物多様性に関する最新の調査研究成果は、今後も公開セミナーや「みどりのこえ」でお伝えしていきます。次号もどうぞご期待ください。(編集担当：尾関雅章・横井 力)



この印刷物は、大豆インクを使用しています。